

2011年7月15日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

関市と学生ら災害支援活動の報告

防災バス「あんしん号」が来学 防災の啓発をします

中部学院大学・中部学院大学短期大学部は、7月24日に行われるオープンキャンパスの機会に、関市の防災バス「あんしん号」を公開し、高校生をはじめ、保護者、本学学生、教職員らに防災意識の向上に努めます。

本学は、東日本大震災直後の3月14日、学生や教職員が被災地で必要とされているボランティア活動をサポートするための「東日本大震災支援センター（センター長：小川 克正 大学副学長）」を設置し、学生らがボランティア活動に参加してきました。

今回のオープンキャンパスでは、▼本学の取り組みと関市の支援活動の様子を写真やパネルで紹介 ▼あんしん号の機能を紹介 ▼関市が防災情報などを発信している「あんしんメール」の啓発を通じて、防災意識を高めます。

記

- 日 時 2011年7月24日（日）午前11時30分～午後3時（搬入10時30分）
- 場 所 中部学院大学 関キャンパス 事務室前広場（関市桐ヶ丘二丁目1番地）
- 所 管 中部学院大学・同短期大学部 東日本大震災支援センター

以上

[あんしん号] 関市が全国に先駆けて導入した、災害時の後方支援バス。地震や洪水などの非常時には現場へ出勤し災害対策本部となり、現地での拠点施設として被災者の応急手当や救助要員の搬送などを行うことができる。安全安心なまちづくりのための力強いサポートが期待されている。（関市広報より一部抜粋）

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学・中部学院大学短期大学部 東日本大震災支援センター

担当：大井 智香子（東日本大震災支援センター事務局長／社会福祉学科 准教授）TEL:0575-24-2211

中部学院大学・中部学院大学短期大学部「東日本大震災支援センター」

[活動目的]

1. 被災地支援のための情報の収集と提供

東北地方太平洋沖地震に関係する一連の災害について、信頼できる情報の収集、教職員や学生にできる支援活動の検討と情報発信を行います。

2. ボランティア活動の調整と支援

学生の自発的な支援活動相互の連絡調整や、社会福祉協議会をはじめとする近隣の福祉団体、行政機関との情報交換を行い、募金活動、救援物資の収集、避難者受入れ支援等、中部学院大学の学生と教職員が志すボランティア活動を支援します。

3. これまでの主な活動

3月14日 東日本大震災支援センター設置

3月-5月 支援募金（卒業式、入学式など）

教職員や学生がボランティア活動に参加（防災介護の研究ほか）

6月16日 現地ボランティア活動報告会

4. 今後の活動予定

8月7-11日 学生による震災ボランティア派遣

（宮城県登米市、本吉郡南三陸町、気仙沼市ほか）

活動内容＝支援物資配送、仕分け、炊き出し、がれき・漂着物の清掃ほか

9月5- 9日 学生による震災ボランティア派遣（岩手県上閉郡大槌町ほか、調整中）

[携帯ウェブサイト]

中部学院大学・中部学院大学短期大学部 東日本大震災支援センター

<http://mobile.chubu-gu.ac.jp/view/37949/>